

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		山桜保全事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	040304001030
		総合計画の施策名				単独/補助	補助	所属課	025101
		0403 観光の振興						課長名	ヤマザクラ課
		政策名						グループ	ヤマザクラグループ
		04 活力ある産業のまちづくり						担当者名	
		03 観光の振興							
		04 ④ヤマザクラを生かした観光振興							
		手続名							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	18	01	00	ヤマザクラの里づくり事業		
法令根拠		桜川市山桜保全活用委員会設置要綱							
		[Do] 1. 事務事業の現状把握 (その1)							

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、平成31年2月20日に策定した「桜川市ヤマザクラ保全活用計画」を推進し、山桜の保全管理や山桜文化の醸成など、特色あるまちづくりを進める。		桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 (1) 名勝・天然記念物のサクラの保全 (2) 里山の保全 (3) 人材の育成の基本方針に基づき、山桜保全活用委員会の設置運営事務、山桜苗木育成圃場管理、文化財保存 (天然記念物のサクラ) に関する業務を行う。	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	
桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 ・(仮)山桜保全活用委員会の設置運営事務 (令和2年度~) ・山桜苗木育成圃場管理 ・文化財保存 (天然記念物「桜川のサクラ」) に関する業務	山桜保全活用委員会の開催回数	回	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	
市民	桜川市の人口	人	38,422.00	37,653.00	37,629.00	36,855.00	36,500.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	
山桜と自然環境の保全を通じて、地域の課題解決につなげ、「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現する。	山桜後継樹育成本数 (高峯・雨巻・磯部)	本	250.00	150.00	300.00	300.00	300.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費 内 訳	国庫支出金	千円	152	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	4,895	5,888	
		一般財源	千円	4,967	0	0	
		事業費計 (A)	千円	5,119	4,895	5,888	
	正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人		

事業費の内訳	04年度事業費 実績 (千円)			05年度事業費 予算 (千円)		
	12 委託料	4,895		07 報償費	500	
				08 旅費	26	
				10 需用費	33	
				12 委託料	5,329	
	合計	4,895		合計	5,888	

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	(1) 名勝・天然記念物のサクラの保全 (2) 里山の保全 (3) 人材の育成の基本方針に基づき、山桜保全活用委員会の設置運営事務、山桜苗木育成圃場管理、文化財保存に関する業務を行う。	(1) 名勝・天然記念物のサクラの保全 (2) 里山の保全 (3) 人材の育成の基本方針に基づき、山桜保全活用委員会の設置運営事務、山桜苗木育成圃場管理、文化財保存に関する業務を行う。	(1) 名勝・天然記念物のサクラの保全 (2) 里山の保全 (3) 人材の育成の基本方針に基づき、山桜保全活用委員会の設置運営事務、山桜苗木育成圃場管理、文化財保存に関する業務を行う。

事務事業名	山桜保全事業	事務事業No.	40304001030	所属課	ヤマザクラ課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成31年2月20日に策定した「桜川市ヤマザクラ保全活用計画」を推進し、山桜の保全管理や山桜文化の醸成など、特色あるまちづくりを進めるために行う。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
(1) 名勝・天然記念物のサクラの保全：地域資源を大切に守っていかうとする市民や保全団体の継続的な支援活動の実施。(2) 里山の保全：市内行政区、保全団体、企業等の山桜植樹活動の実施。(3) 人材の育成：小学校児童対象の山桜学習会や山桜苗木育成体験活動の実施。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画と整合が取れており、市の政策体系に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 桜川市ヤマザクラ保全活用計画の方針に基づき、桜川市山桜保全活用委員会の意見も伺いながら、事業内容等の見直しも含め進めていく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 桜川市ヤマザクラ保全活用計画に示す各事業においても影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 山桜苗木移植場所の確保や里山整備(農林課事業等で行った森林整備後の活用連携)、文化財保存活用計画の作成(文化財担当課との連携)などが考えられるが全てを統廃合することはできない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、市が策定した桜川市ヤマザクラ保全活用計画を推進するための業務であり、受益者負担の必要性はない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成31年2月20日に策定された「桜川市ヤマザクラ保全活用計画」の進捗としては、令和3年度に山桜保全活用推進委員会を開催し、計画の進捗管理を行った。名勝桜川(サクラ)及び天然記念物桜川のサクラの現状変更(土壌調査、及び改良)については文化財課と連携し文化庁からの許可のもと計20本の調査・改良に着手した。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
令和3年度に開催された山桜保全活用推進委員会において、委員よりご指摘のあった事項について、さらに有効かつ効率的に山桜を保全活用していけるよう、手法の改善や方向性の軌道修正などを行う	(6) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>